

# パラリンピック

オリパラ通信 第6号  
加美町

なるほど!

パラリンピックの原点だ〜ぞ!

の

話



医師 **グットマン博士** は、第二次世界大戦により車いすになった兵士が一日も早く社会復帰できるように、**リハビリ**を行っていました。



しかし

戦争や負傷した多くの兵士は「うつ状態」。リハビリの効果どころか、生きる希望を失っていました。  
外面だけではなく内面、**心のケア**も必要だと考えました。

ルードウィッヒ グットマン博士  
ドイツ出身神経外科医  
“パラリンピックの父”とよばれる

そこで

楽しみながらリハビリが出来るように**スポーツ**を取り入れると、兵士たちの目に**輝き**が戻ってきたのです。

スポーツがもたらす効果は**絶大**だと確信したグットマン博士。  
病院内で16人の車いす使用者による**アーチェリー大会**を開催。



グットマン博士とオーストラリアのパラリンピック選手(1976年)

これがパラリンピックの原点となり・・・

72年後、東京2020大会では22競技4400人が参加する、  
スポーツの祭典へと発展しました。



失われたものを数えるな、  
残された機能を最大限に活かせ  
パラリンピックの父 ルードウィッヒ グットマン博士

「障がいがあってもあきらめることなく、前向きに挑戦して生きてほしい」というグットマン博士の励ましのメッセージが込められています。



GO GO 2020

\*写真 Australian Paralympic Committee  
[CC BY-SA(<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>)]



PARALYMPIC

発行 加美町教育委員会 生涯学習課 スポーツ推進室 Tel(0229)69-5124